

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	04 05 13	中期総合計画主要施策番号		担当課	部・課	健康福祉部 地域福祉課	
事業名	地域福祉総合助成金交付事業			内線	2328		
				E-mail	chiiki-fukushi@pref.nagano.lg.jp		
実施期間	H21 ~	根拠法令等	地域福祉総合助成金交付要綱、地域福祉総合助成金交付事業実施要綱				
実施方法	補助金 市町村（中核市は精神障害者関係事業のみ対象）					国庫・県単	県単独事業

事業の概要等	目的（必要性）	誰もが生きがいをもっていきいきと暮らせる安全で安心な社会づくりの実現。				
	対象	市町村				
	目指すべき姿	・市町村がそれぞれ実情に応じて補助金を有効活用できる仕組みをつくとともに、市町村が新たに要望・提案する事業も取り込める制度とする。 ・補助金の有効活用の観点から、対予算執行率の向上を図る。				
	事業内容	・安心生活支援事業 （宅幼老所等整備事業、緊急宿泊支援事業、高齢者にやさしい住宅改良促進事業等） ・障害者支援事業 （通所通園等推進事業、障害者余暇活動支援事業、心身障害児（者）タイムケア事業等） ・子育て支援事業 （社会福祉施設代替職員雇用事業、低年齢児保育支援事業、放課後児童健全育成事業等） ・市町村提案事業				

事業コスト	区分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 補助金：（市町村）：223,486千円
	最終予算額（A）		千円	300,000	285,000	267,350	
	決算額（B）		千円	229,011	223,486		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	219,011	203,487	253,893	
	概算人件費	概算事業費（B(H24はA）+ C）	千円	237,328	231,744	275,608	
	概算事業費	概算人件費（C）	千円	8,317	8,258	8,258	

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 市町村の事業要望に応えるため、追加内示の時期を早め、追加協議の回数を増やした。 また、執行状況等を勘案し、平成24年度当初予算の内示に反映させる。（事業実施市町村 71） (効率指標算出式) 決算額/市町村数
	平均執行率(活)	%	76.3	78.4	80.0	
	要望額(活)	千円	297,376	288,587		
	実施市町村数(活)	数	70	71		
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 市町村の平均実績額	千円	3,272	3,148		

事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分
	平成18年度～20年度の3年間の平均執行率が74.8%であるため、それを上回ることを目標値とする。			市町村へ補助事業に係る改善要望を調査し、制度改善を図っている。 また、市町村の事業要望に応えるため、追加内示の時期を早め、協議回数を増やしたことにより、平均執行率は目標値を上回ることができた。（昨年度よりも増加）			b 期待どおり

事業の課題	区分	判定・説明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	市町村からの執行状況等を勘案し平成24年度当初予算に反映するとともに、新規事業を3項目追加予定である。 また、市町村に対し補助事業に係る改善要望をアンケート調査し、制度改善を図っている。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	年度末において交付決定の20%以上を不執行にする市町村が見受けられたので、年度途中で執行見込みのない市町村の把握に努め、予算の有効活用を図る。				
	特記事項	市町村が各々の実情に応じて活用できるよう、平成21年度から「地域福祉総合助成金事業」として統合補助金化を行った。				